

九州北部豪雨の土砂災害現地調査チームとして湯沢砂防事務所から緊急災害対策派遣隊（TEC-FORCE）4名が出発しました。

平成29年7月5日（水）から7月6日（木）にかけて降り続いた梅雨前線に伴う豪雨の影響で、福岡県および大分県を中心に広い範囲で土砂災害などの被害が多数確認されています。

この度、現地の被災状況の把握と二次災害防止を目的とした土砂災害現地調査のため、平成29年7月9日（日）に北陸地方整備局湯沢砂防事務所から緊急災害対策派遣隊（TEC-FORCE）4名が出発しました。北陸地方整備局全体としては、現地調査班等計3班計11名（7/9時点）が派遣されています。

隊員を激励する出発式



佐藤隊員
辻隊員
梅田隊員
福田隊員

事務所職員が見守る中での出発式、森下事務所長より激励の言葉を受けて、隊員を代表して福田隊員より力強い決意表明がありました。その後、4名は現地に向けて出発しました。

現地の被災状況

（九州地方整備局HP「九州地方整備局Photoアーカイブス」より）



福岡県田川郡添田町 彦山川 7月5日18:00時点

はるかぜ号 福岡県朝倉市 7月6日13:00時点

【へり位置】福岡県朝倉市
【撮影位置】福岡県朝倉市

TEC-FORCE（緊急災害対策派遣隊）とは

TEC-FORCE（緊急災害対策派遣隊）とは、被災した地方公共団体等の災害対応を支援する、国土交通省の組織です。

TEC-FORCEは、大規模自然災害が発生し、又は発生するおそれがある場合において、被災状況の迅速な把握、被害の発生・拡大の防止、被災地の早期復旧その他災害応急対策に対する技術的な支援を行うものです。